



小川小学校

# 学校だより

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子



令和3年5月21日 No.7

## 《「どうしてもできないのだろう」「どうしてもうまくいかないのだろう」》

子供も大人も、時にはこのように思い悩むことがあるかもしれません。「一人一人個性があり、成長の仕方や学び方が違うものだよ」「誰でも失敗や苦手なことがあるよ」と、わかってはいても、目の前で起こっていることに対して困り感や不安でいっぱいになることがあると思います。そのような時、寄り添って一緒に考えてくれる人がいたら、どんなに心強いことかと思えます。

子供たちや保護者の皆様一人一人の願い、思い、悩みに寄り添いながら、家庭、地域、学校とが力を合わせて子供たちの成長を応援していただけるように、ちょっとしたヒントや情報を盛り込み、学校だよりで特別支援教育のことを今年度もお知らせいたします。

## 《小川小学校の特別支援教育》

子供たちは、性格、興味・関心、得意なことや苦手なこと、学び方、感じ方、成長の仕方など、一人一人が違ったものをもっています。

ところが、その個性も大人になるまでの長い成長の過程で、いろいろな人や集団との関わりで、学習、対人関係、生活などで、うまくいかなかったり、悩んだりすることがあります。

これは誰にでもあり得ることです。「今は大丈夫」と思っている、思春期でつまづくケースもあります。今はとても困っていても、やがて落ち着くケースもあります。どのように成長するか、どのようなことでつまづくかは、複雑で予測が難しいです。

子供自身が困難を自分で乗り越えたり解決できたりすることがあります。しかし、困り感が長く続いたり、対応が難しくなったりして、自信や意欲を著しく失ってしまうことがあります。すると、その後の成長に大きく影響を及ぼしてしまうことがあります。

周囲の大人たちが、ちょっとサポートを工夫したり、困りごとや悩みに寄り添うことだけでも、子供はやる気が高まったり、思わぬ成長を見せたりします。子供は成長しようとするエネルギーを内に秘めています。子供が可能性や能力、個性を大いに発揮し、自信や意欲を高めて生活や学習ができるように、家庭、地域、学校とで連携してサポートしていくことが大切です。

また、苦手なことがあったり、悩んだりしている友達に対して、周囲の子供たちはそれをどのように感じ、どのように関わっていくか。これも大切な特別支援教育の役割です。

「特別支援教育は、うちには関係ないかも…」ではなく、成長の過程にある全ての子供たちにとって必要なことです。

学習、生活、友達関係、情緒面など、気になることがありましたら各担任までご連絡ください。  
(裏面に続く)



そこで、今回は、毎週水、木曜日に「みどりが丘小学校の吉田先生」が小川小学校で支援している「通級指導教室」の紹介をします。

### 1 「通級指導教室」とは、どんな教室ですか？

その子供が苦手とすることや困難に感じることを改善し、楽しく学校生活を送ることができるようにサポートする教室です。例えば、次のようなことです

- ① 集団活動への参加が難しい
- ② 友達関係が築きにくい
- ③ 人とのコミュニケーションが苦手
- ④ 学習に集中できない
- ⑤ 自分の気持ちをうまく伝えられない
- ⑥ 他のことに比べて、読む、書く、話す、計算するなどの特定のことが難しい等

### 2 具体的にはどんな学習をするのですか？

子ども一人一人の特性に応じた計画を立て、基本的に1対1の個別で学習をします。

例えば、次のような学習活動です。

- ① 見る力を高めるために、迷路、パズル、間違い探しなどの学習
- ② 運動感覚を養うためにボールを操作する学習
- ③ コミュニケーション能力を高めるために、場面に合う話し方を考える学習
- ④ ゲームなどを通して勝敗を受け入れる学習

教具としては、プリントを用意したり、パソコン、ボール、ビー玉、トランプなど様々なものを使い学習します。

### 3 算数(国語)が苦手なのですが、通級指導教室で個別指導してもらえますか？

通級指導教室は、授業の補習をするところではありません。しかし、その子の持つ算数(国語)での苦手さがどこにあるのか確認するために算数(国語)の支援を行う時もあります。

### 4 通級指導教室の話を知りたいのですが？

まずは、クラス担任にご連絡してください。面談の日時をご相談いたします。「こんなことで」と思わないで、気になるお子さんの様子等、お気軽にご相談ください。

### 《子供たちのあいさつがますますできるようご協力をお願いします》

小川小学校では、1年間の生活目標の中に、必ず「あいさつをしよう」が入っています。あいさつは自分と他人とを結ぶ潤滑油のような役割をしていて、人間関係を築く上でとても大切なものです。あいさつを交わすと、自分だけではなく、人の心も癒やすことができ、そこから次の人間関係につながっていく、とても大切な「人との関わり方」です。

小川小学校の子供たちは、校舎内でよくあいさつをしています。登下校中に、よくお会いする交通指導委員の方や地域の方などにもあいさつができるよう指導します。しかし、あいさつの習慣をつけるには、学校だけでは不十分です。学校と家庭と地域が一体となって、取り組むことが必要だと考えています。

『笑顔であいさつ 小川小!』を合い言葉にぜひ、ご家庭、地域の皆様にもご協力いただきますようお願いいたします。